

韓国経済の構造改革

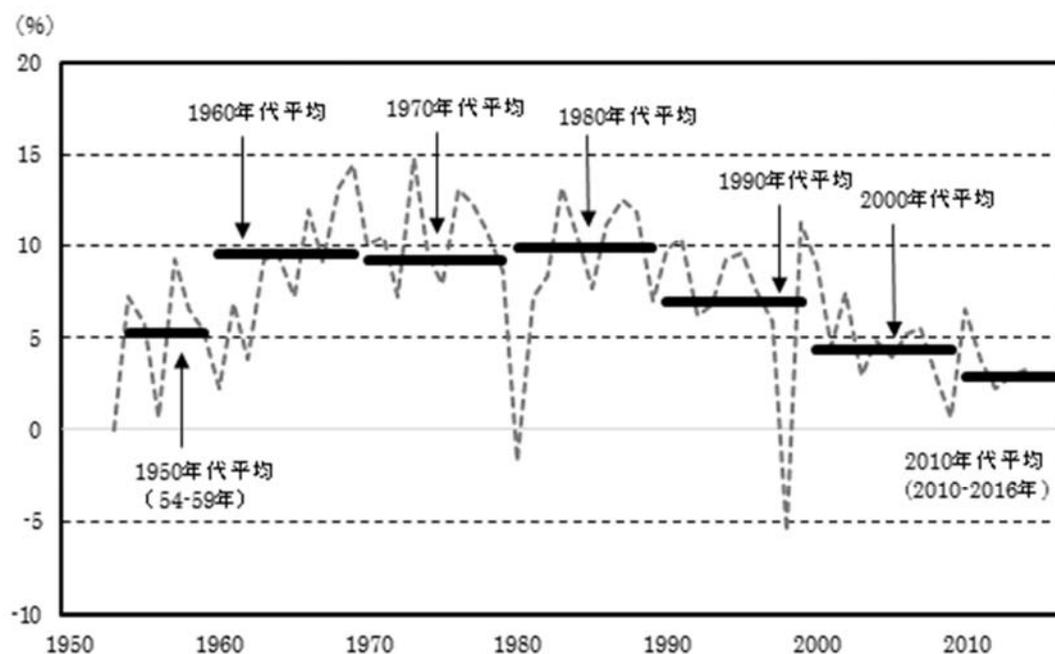
2018年8月1日(水)

環日本海経済研究所(ERINA)

中島朋義

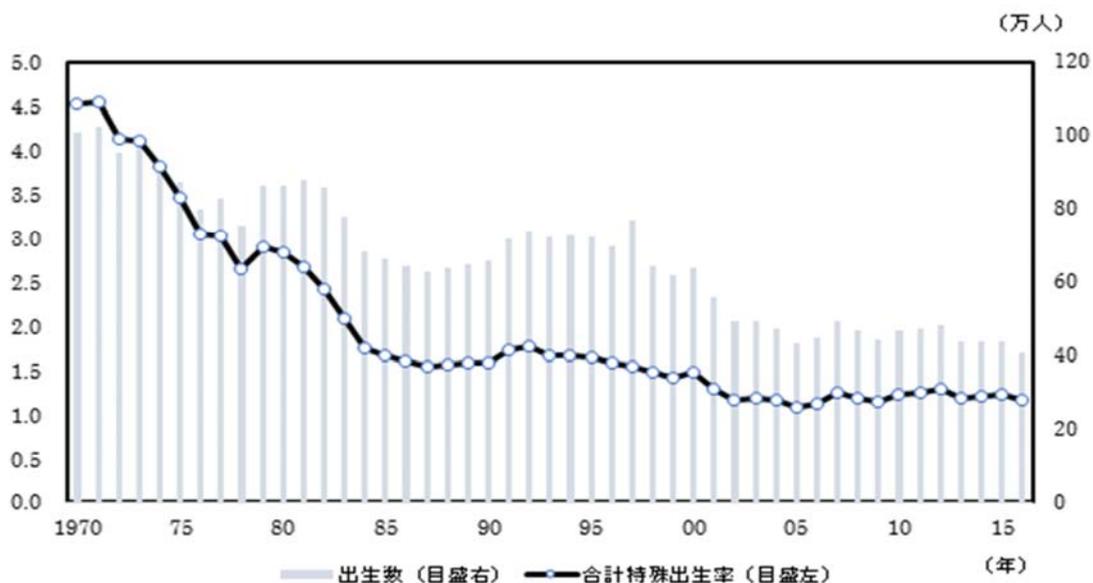
I. 低下する潜在成長率 と構造改革の必要性

(図1) 実質GDP成長率の推移



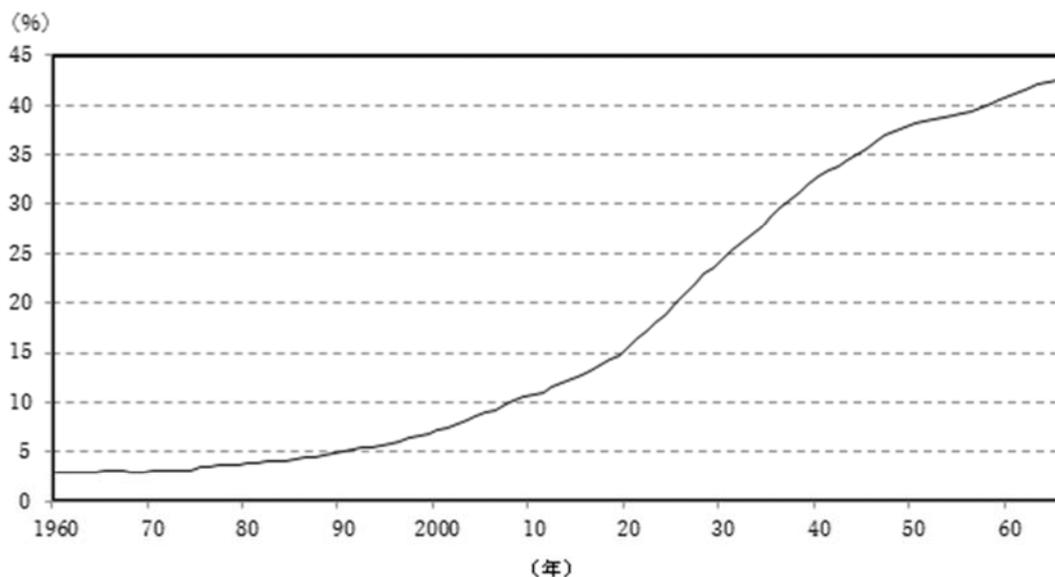
3

(図5) 出生率と出生数



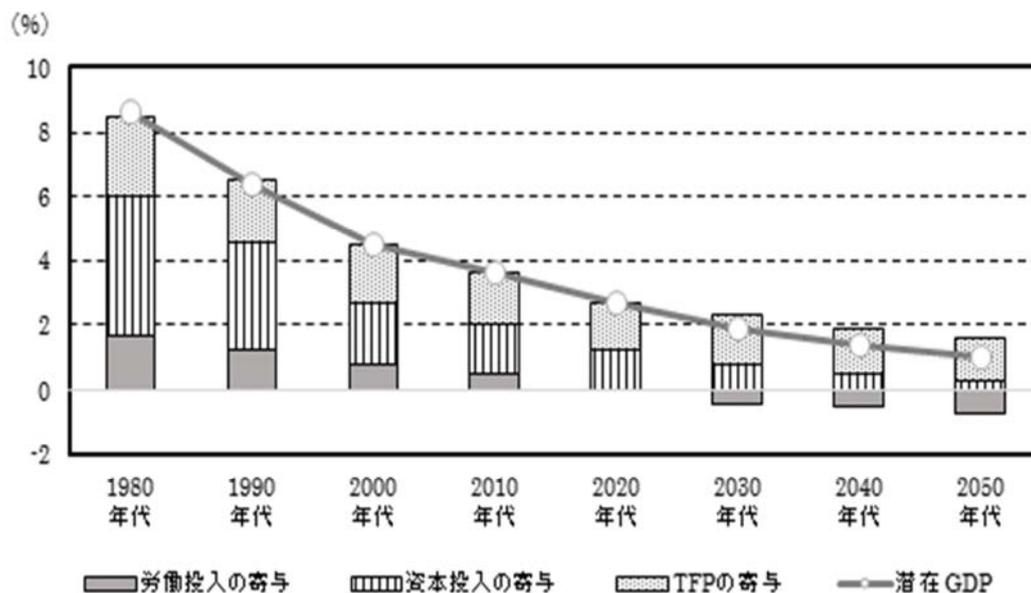
4

(図4) 高齢化率



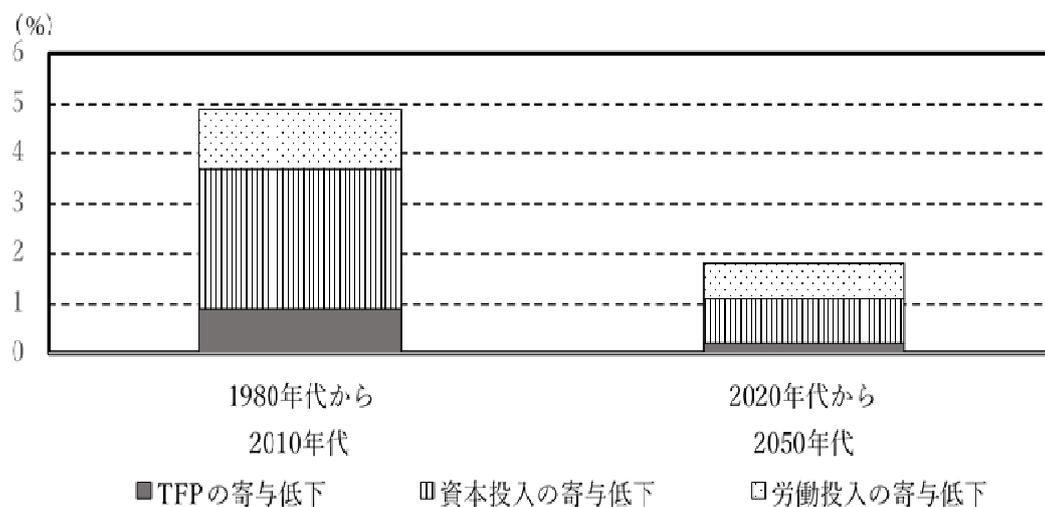
5

(図2) 潜在成長率の推移と各生産要素の寄与



6

(図3) 潜在成長率の低下要因



7

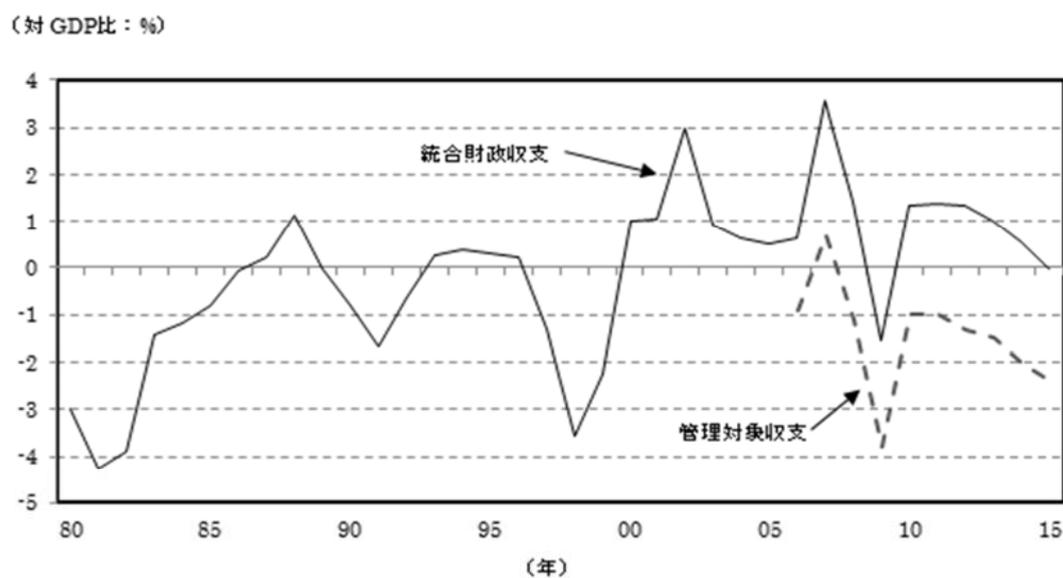
Ⅱ. 過去に行われた構造改革の成果

8

1. 財政部門

9

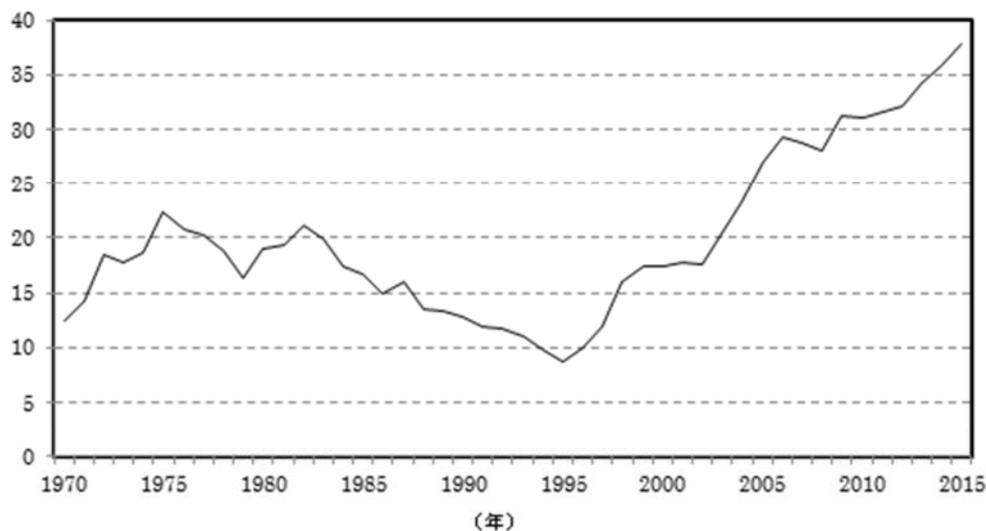
(図6) 統合財政収支および管理対象収支



10

(図7) 国家債務の対GDP比

(%: 対GDP比)

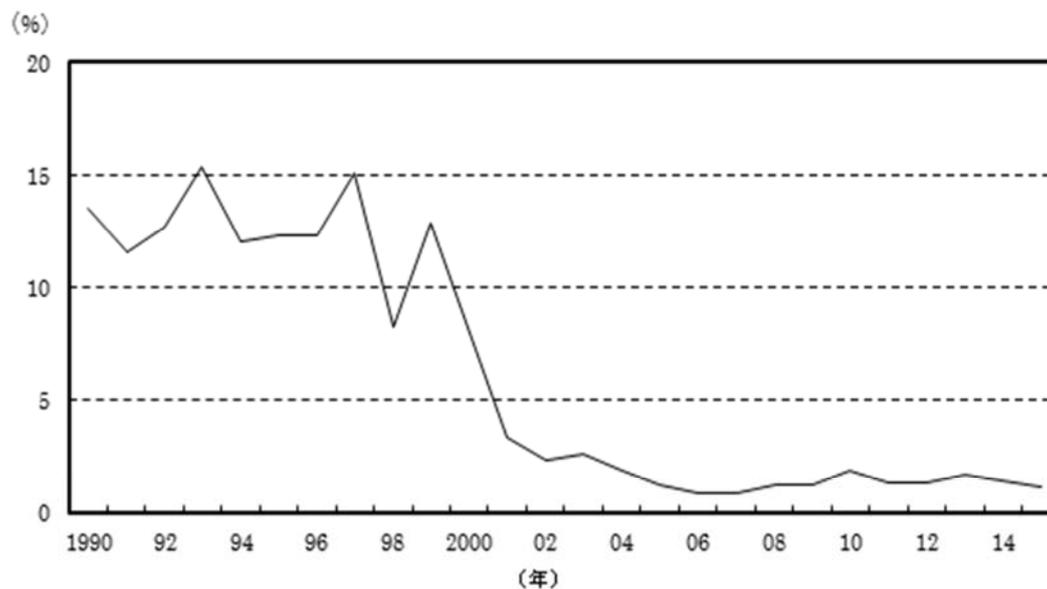


11

2. 金融部門

12

(図8) 不良債権比率

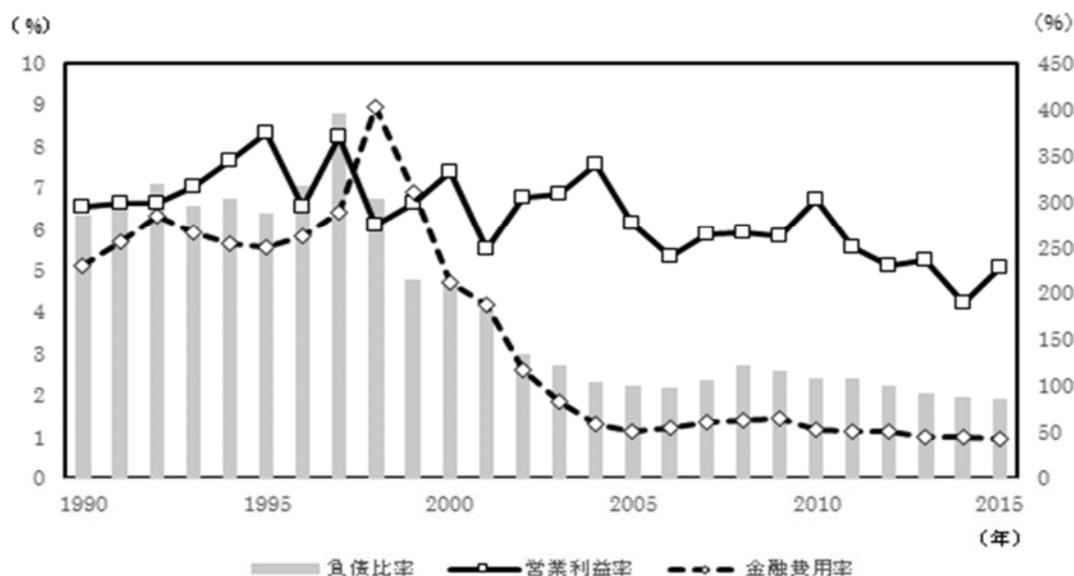


13

3. 企業部門

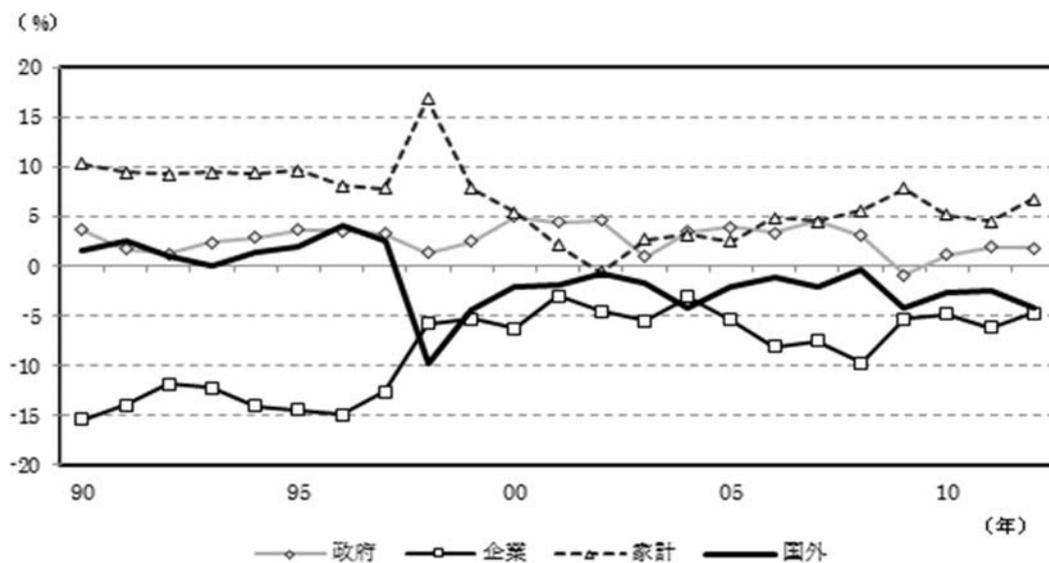
14

(図9) 企業の各種指標



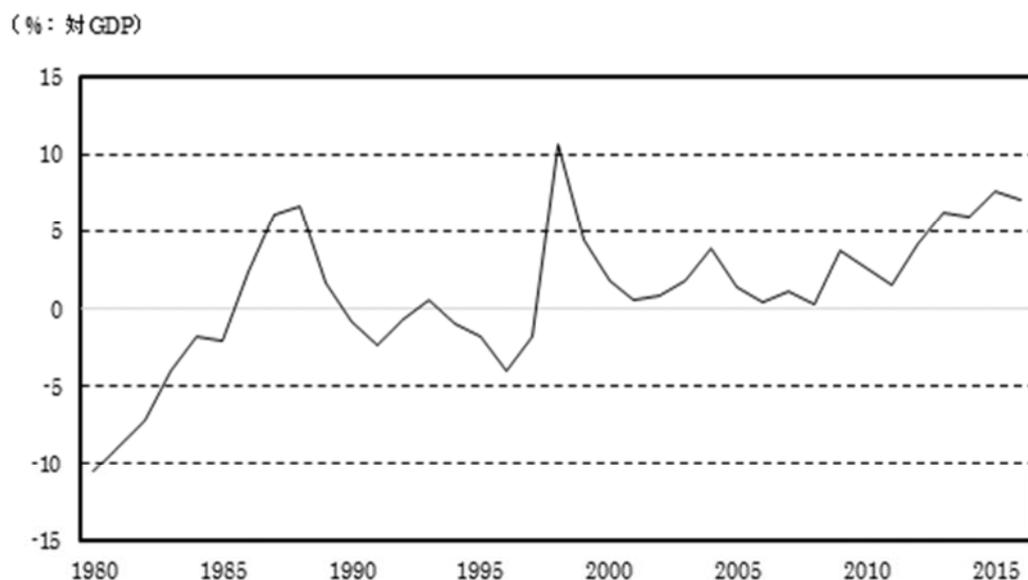
15

(図10) 経済主体別の資金過不足 (対GDP比)



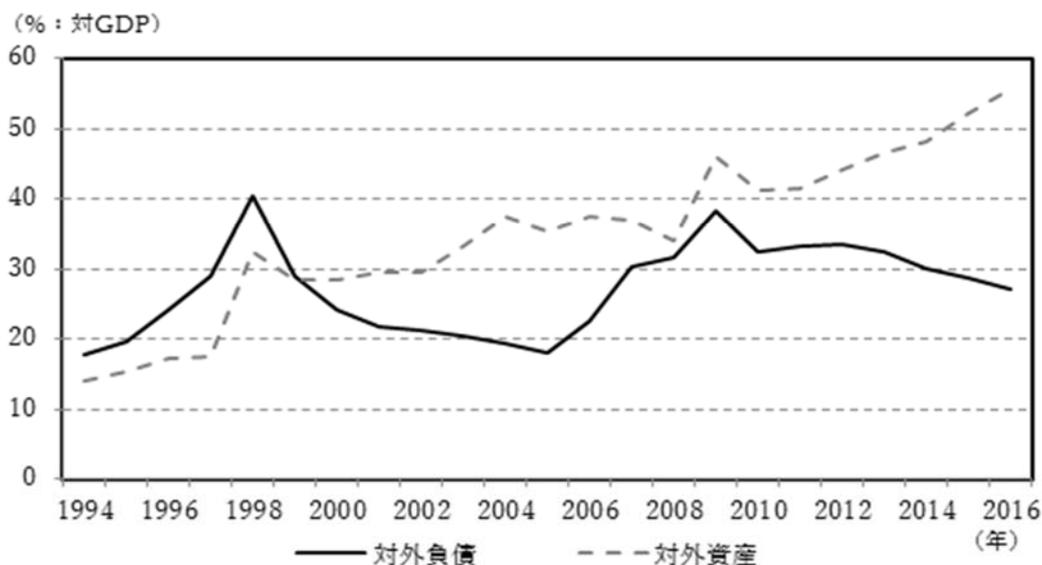
16

(図11) 経常収支(対GDP比)



17

(図12) 対外資産および対外負債 (対GDP比)



18

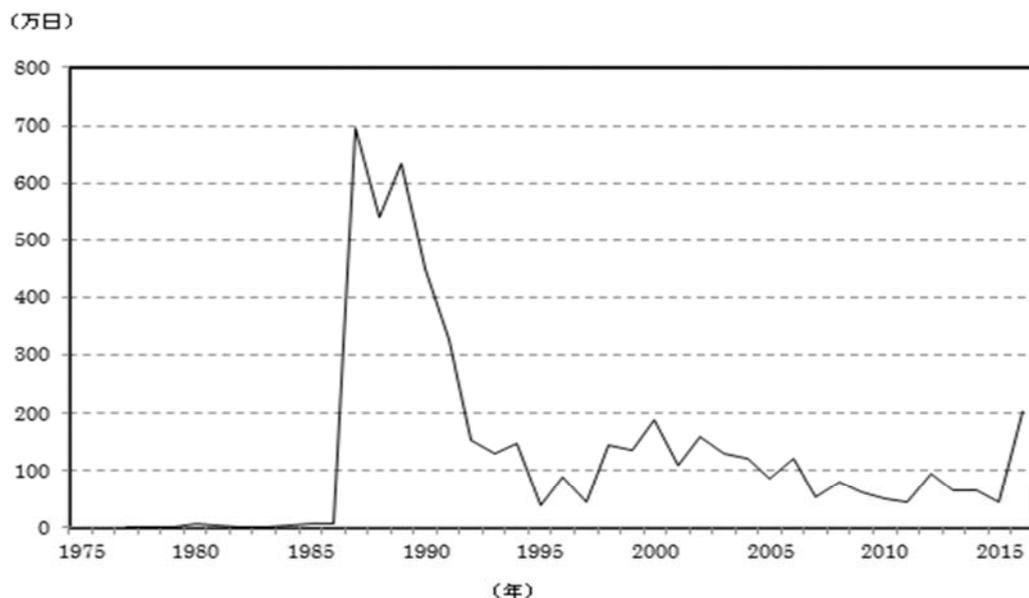
Ⅲ.残されている構造 問題

19

1.労働部門の構造問題

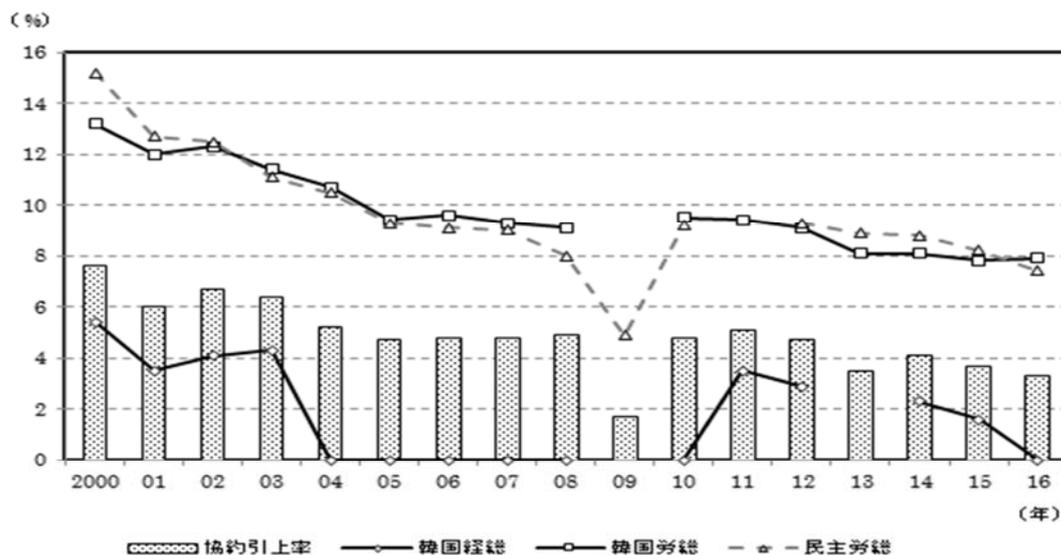
20

(図13) ストライキによる労働損失日数



21

(図14) 使用者の賃上げ提示率、労働組合の要求額、合意賃金引上率

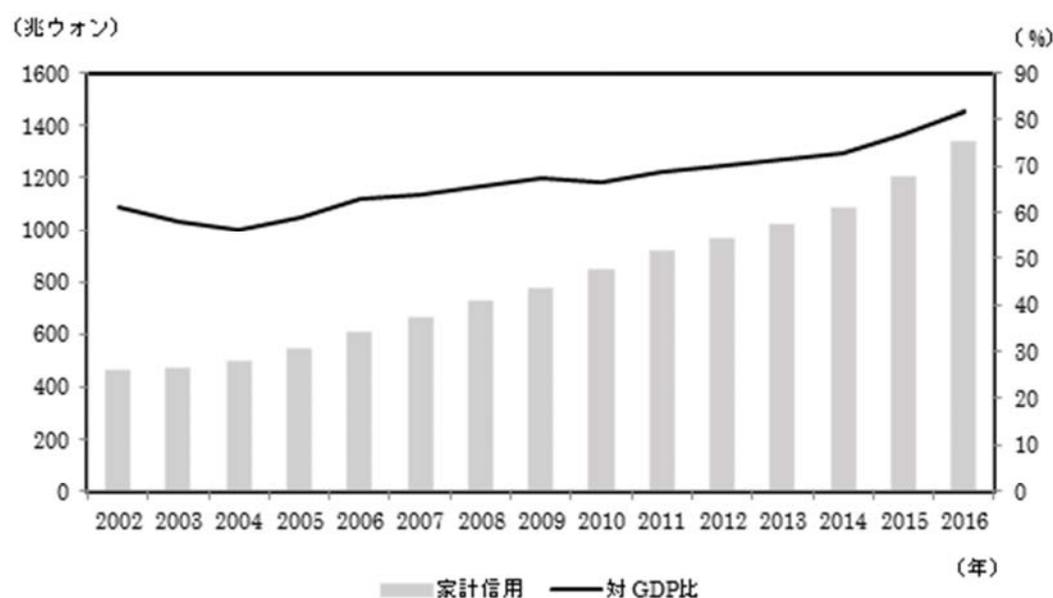


22

2.通貨危機後に発生した構造問題

23

(図15) 家計信用



24

(図16) ウォン・ドルレート

